

ホタル生息適した照明研究 延工高と3社連携

延岡市北川町や北浦町のホタル再生を目指す延岡工業高は、県内の電子機器製造3社と連携して、ホタルが生息しやすい照明の開発に取り組んでいる。

同校によると、全国有数の生息地と言われながら、近年のホタル出現数は減少傾向。関係者は「地域の課題を解決するためにも、地元の高校生にぜひ成果を出してほしい」と期待を寄せている。

研究に携わっているのは同校の環境化学部（川崎仁士部長，6人）と環境化学システム科3年生30人。民間は、宮崎市を拠点に発光ダイオード（LED）開発などを手掛けるトーエン（村上俊博社長）、共立電機製作所（米良充次社長）、マイクロ電子サービス（河野道直社長）。

宮崎日日新聞 2011年01月17日



民間3社から届いた照明装置を手に取り、笑顔を浮かべる生徒たちービス（河野道直社長）。